

部 報 第 1 2 4 号

平成 2 0 年 8 月 2 日
(財)全国高体連卓球専門部

【平成 2 0 年度 (財)全国高体連卓球専門部第 1 回理事会・評議員会議事録】

日 時：平成 2 0 年 8 月 2 日 (土) 理 事 会 8 : 3 0 ~ 1 1 : 5 0
評 議 員 会 1 2 : 3 0 ~ 1 4 : 3 0

会 場：春日部市総合体育館・大会議室

議 事：

1 あいさつ

(財)全国高等学校体育連盟卓球専門部 部長 後藤 泰之
埼玉県高等学校体育連盟卓球専門部 部長 小川 義男
大阪府高等学校体育連盟卓球専門部 部長 久我 信義

2 協議事項

(1) 第 1 号議案 平成 1 9 年度事業報告 (年報 2 2 号参照) 承認の件

ア 平成 1 9 年度第 7 6 回全国高等学校総合体育大会 (佐賀大会) 中島委員長
イ 平成 1 9 年度第 3 5 回全国高等学校選抜卓球大会 (東京大会) 寶川委員長
ウ 平成 1 9 年度優秀選手冬季合宿・指導者講習会 (滋賀県・大津市) 堀内委員長
エ 2 0 0 8 日本・中国指導者講習会及び友好合宿 中村団長
オ その他・強化事業 丸田副理事長
すべて承認

(2) 第 2 号議案 平成 1 9 年度収支決算報告及び監査報告承認の件

ア 平成 1 9 年度収支決算書 (案) 関川会計
イ 平成 1 9 年度収支決算書に対する監査報告 野崎監事
・ 80 周年記念事業費へ 50 万円繰入れ
承認

(3) 第 3 号議案 平成 2 0 年度事業計画案承認の件

ア 2 0 0 8 ベトナムホーチミン市ゴールデンラケット大会 丸田総監督
期 日：平成 2 0 年 7 月 1 4 日 ~ 7 月 2 1 日
・ カテゴリーがなく一般の大会で、中国が省、韓国は実業団チームが参加しておりレベルが高い。また、世界選手権大会と同様に 5 ~ 6 チームによる予選リーグが行われ試合もたくさんできるので来年度もぜひ参加をしたい。
・ 平成 2 0 年度年報に報告書掲載予定 承認
イ 平成 2 0 年度第 7 7 回全国高等学校総合体育大会 (埼玉大会) 宮本委員長
・ 予定通り実施
承認
ウ 平成 2 0 年度第 3 6 回全国高校選抜卓球大会 (愛媛大会) 戸田委員長
期 日：平成 2 1 年 3 月 2 6 日 (木) ~ 2 8 日 (土)
会 場：愛媛県武道館
・ シングルスに参加料を 3000 円から 2500 円に訂正した。
全国総体のシングルスの出場料は 2500 円で全国高体連から選抜はインターハイに準ずるとの指摘を受けた。(若尾理事長)
・ 「8 参加資格」の外国籍選手について福島選抜大会の要項と食い違いがある。
兵庫総体の要項、10.参加制限(3)の「外国人留学生の参加については、(財)全国高等学校体育連盟卓球専門部規定 2 . 大会運営規定〔5〕外国籍選手の大会出場制限による。」で統一する。
承認
エ 平成 2 0 年度優秀選手冬季合宿・指導者講習会 (島根・松江) 坂上委員長
冬季合宿
期 日：平成 2 1 年 1 月 4 日 (日) ~ 7 日 (水)
会 場：松江市総合体育館

指導者講習会

期 日：平成21年1月5日（月）～6日（火）

会 場：松江市総合体育館

承認

オ 強化普及事業

丸田副理事長

- ・平成20年度事業予定

日・韓・中ジュニア交流は本年度、日本開催で千葉ポートアリーナで、日・韓の日本開催は愛知・碧南市で行う。

承認

(4) 第4号議案 平成20年度収支予算案承認の件

関川会計

- ・全国選抜大会への運営補助金を25万円増額、今年は中国合宿を行わないので海外遠征費を50万円減額した。

承認

(5) 第5号議案 理事会・委員会・事務局提案承認の件

ア 全国選抜大会通過枠改正案（理事会提案）

小坂副理事長

- ・総体の参加定数と選抜ブロック通過数の算定基準の基礎数は同じものを使用する。
- ・関東ブロックから出された提案は本年度のプログラム編成会議で行われた臨時の理事会で検討されたことを評議員会で報告する。

承認

イ 規約・規定の一部改正

小坂副理事長

- ・役員・評議員および事務局 P1 規約第6条(2)
「副専門部長 若干名 評議員会で推戴する。」 「副専門部長 若干名 専門部長が推薦する。」

- ・大会開催基準規定(出場数) P5

全国総体個人戦(シングルス・ダブルス)の特別枠の申請についての(4)

「国外で開催される国際大会の場合は、日本を出発する日の前3日～帰国した翌日以降7日とする。」 「国外で開催される国際大会の場合は、日本を出発する日の前2日～帰国した翌日以降3日とする。この期間内に行われる学校対抗の部には、出場することはできない。」

時差等を考慮して「出発前3日～帰国した翌日以降7日」としてあるが、個人戦を予選なしの特別枠で出場できるのにもかかわらずその期間内に行われた学校対抗予選に出場した例がある。

国内における国際大会においても同様に「学校対抗の部には、出場することはできない」ので他の条文についても文言について整理する。

- ・役員・事務局規定 P16 第4条

「(財)日本卓球協会の評議員(1名)は、原則として理事より選出する。」 削除

以上承認

ウ 技術委員会

丸田技術委員長

- ・指導者講習の一つとして2009年世界選手権横浜大会の各県1名の視察について観戦チケット・宿泊費(1泊)の来年度予算化をお願いしたい。

承認

エ 審判委員会

中村審判委員長

- ・ラバーの接着行為について

H20.9.1「ラバーの接着行為に関する新ルール」がITTFから発表される。(内容未定)、それを受け、H20.9.13(財)日本卓球協会理事会にて日本卓球ルールが正式決定される予定。

- ・ラバー(特に表ラバーで粒の表面にゴムの摩擦を減らすための特殊コーティングが施されているもの)で H20.7.1 から使用できないものがある。 リスト一覧を監督会議で配布。

- ・日本卓球協会より、「正式なルールに規定された用語『ゲーム』に対して『セット』の表現をする指導者が多すぎる。」との苦情があるとのこと。正式な表現の指導を

お願いしたい。

承認

オ 年報編集委員会

初田年報委員長

- ・ H19 年度の年報の注文数は 4420 冊、各県のご協力に感謝したい。

承認

カ I T 委員会

小坂 I T 委員長

- ・ H P にできるだけタイムリーに情報を掲載していきたい。昨日の組合せ抽選結果もすでのアップできているが、年々予算も削られており H P 管理者も多用のため、掲載時期が遅れることをご容赦願いたい。ブロック大会の結果も掲載していきたい。

承認

キ 2009 年世界選手権横浜大会

丸田副理事長

ク 平成 21 年度第 78 回全国高等学校総合体育大会（兵庫大会）

西村委員長

- ・ 公開抽選会 平成 20 年 8 月 4 日(火)
開会式 8 月 5 日(水)
競技 8 月 6 日(木)～ 10 日(月)
閉会式 8 月 10 日(月)
- ・ 公開抽選会はグリーンアリーナ神戸・メインアリーナで行う。
- ・ 宿泊申込みの方法が、埼玉総体とは異なり、従来の形になる。
- ・ プログラム編成会議の会場を交通の便を考えて兵庫県民会館に変更させていただいた。

兵庫大会においてドーピング検査を実施する。今後のことを考えるとドーピングは避けて通れない。(若尾理事長)

様々な問題が考えられるので、委員会を設けて受け入れ体制を検討していく。

参加申込み書について、補助データとしてパソコン入力をしたものを活用して手間をできるだけ省いていただきたい。また、監督会議でも質問のあった組合せ抽選会の手順をより良いものにしていただきたい。(稲垣理事)

参加定数について確認(坂部事務局長)

承認

ケ 平成 21 年度第 37 回全国高等学校選抜卓球大会（福島大会）

武田委員長

- ・ 要項の確認をお願いしたい。
- 運営に支障がなければすべての試合でタイムアウト制を実施したい。(宮澤審判長)
男女シングルス(2部)の予選リーグにおいては審判の問題もあるので採用しない。
他についてはタイムアウト制を実施する方向で検討してもらう。

承認

コ 平成 23 年度第 80 回全国高等学校総合体育大会・記念大会(青森大会)宗片委員長

- ・ 日程 平成 23 年 8 月 9 日(火)～ 14 日(日) 会場：青い森アリーナ(青森市)
- ・ 80 回を記念して各ブロックに特別枠を設ける。

承認

(6) 第 6 号議案 平成 20・21 年度役員人事承認の件

若尾理事長

承認

3 報告事項

(1) (財) 全国高等学校体育連盟評議員会

若尾理事長

- ・ プロ扱い選手、松平健太、森園美咲(以上青森山田)、石川佳純(四天王寺)3名、業者4社について申請が行われた。

(2) (財) 日本卓球協会評議員会

若尾理事長

(3) (財) 全国高体連卓球専門部理事会ほか

若尾理事長

4 連絡事項

(1) 開催地実行委員会より

宮本委員長

(2) 事務局より

坂部事務局長

平成20年8月3日(日)

1 理事長挨拶

2 議事

(1) 平成20年度内容について

ブロック大会・結果 インターハイ 国民体育大会 全日本選手権 選抜大会
合宿・指導者講習会 日・中・韓交流大会 海外遠征報告 その他
名簿(全国高体連役員・評議員・技術委員・年報編集委員・関係機関・OB会)
事務報告(決算・予算、各種会議報告等)

(2) 平成20年度「年報23号」編集について

サイズ(現行サイズ: A4タテ) 約42~44文字、10.5~11ポイント MS明朝
・個人戦のトーナメント表(ヤグラ)への、氏名・学校名・学年の記入。(名簿の省略)
・各ブロックの原稿を、そのまま年報原稿とする……原則
題字・表紙(全国高体連卓球専門部長による)
広告(日本卓球・タマス・ヤマト卓球の三社に依頼。掲載場所は年毎に移動)
ブロック大会結果(各ブロック編集委員の責任編集とし、原稿を京都文教 初田へ郵送)
インターハイ(埼玉)・国民体育大会(大分)・選抜愛媛大会結果
(委員長が開催地競技委員長を通じて依頼し、大会記録を京都文教 初田へ郵送)
全日本選手権結果
合宿、日・中・韓交流大会・海外遠征報告等(全国高体連事務局:安西先生より)
事務報告(安西先生より)
全国指導者講習会、部報等(全国高体連事務局:鈴木先生より)
名簿関係(全国役員……鈴木先生、OB会……植松先生より)

(3) 印刷・出版に関して

* 原稿送付先

〒606-8344 京都府京都市左京区岡崎円勝寺町5 京都文教 初田泰宏 宛
(TEL:075-771-6155 FAX:075-752-6808 携帯:090-7492-4812)

* 印刷所 (株)松本印刷

〒604-8862 京都市中京区壬生森町1番地
TEL:075-821-2222
FAX:075-802-0084

3 閉会のことば